

第5回高齢者部会

日 時 平成22年11月9日(火)午後6時30分

場 所 川崎区役所7階第1会議室

午後 6時27分 開 会

出席者(敬称略)

委員 6人

星川孝宜、猪熊俊夫、須山令子、田辺富夫、富田順人、吉野智佐雄

1 開 会

事務局 <会議開催の事前公表、会議録の開示、傍聴の遵守事項、会議の記録、広報としての写真撮影、配付資料を説明>

2 議 題

(1) 実施方針(案)策定について

部会長 実施方針(案)策定について審議したいと思います。

資料の説明をお願いします。

事務局 <資料1、資料2、参考1に沿って説明>

部会長 第2回全体会議では、高齢者部会の報告に対して修正を求めるような意見は特段なかったように思います。高齢者部会と子ども部会が連携して事業を進められないか、また、コミュニティバス絡みでデマンド交通の考え方もあるという提案がありました。全体会議について、何か意見・感想はありますか。

特になければ、「生きがい、社会貢献」のうち、「活動PRのための『集い』の開催、居場所づくり」について、今後どういう形で進めたらいいのか意見をいただきたいとします。

事務局 例えば行政では、会場の予約をすとか、準備のサポートとか、参加団体に対する連絡調整とかができるという形になると思います。まず、いつごろやるのかを想定して話を進めていってはいかがかだと思います。やるのであれば、区民会議が企画をするのか、実行委員会形式みたいな形でほかの方も交えて進めていくのか、そういうような意見をいただけたらと思います。

部会長 皆さんの中でそれぞれイメージがあると思いますが、いかがですか。

委員 とりあえず1回ないしは2回、年度内に開催し、その反省に基づいて次にどういう形で開催したらいいかを議論したほうがいいと思っています。

実施場所は、各町内会事務所とか、最近、町内にあるミニミニギャラリーみたいところへこちらから出ていったらいいかかと思っています。10人前後集まれるぐらいの会場で、アットホームな形で話し合いをしましょうという雰囲気がいいと思います。

部会長 集いを開催するために実行部隊みたいなものを組織化するのですか。

委員 組織化しなくても、区民会議の委員が事前PRすれば、担当している地域の町内会とかまちの人なりが動くと思います。

委員 人寄せが一番大事になってくると考えます。町会とか小さく区切ってやることも一つの手かもしれませんが、大きいところで、町会とか老人クラブが活動している体験を2つ、3つ入れてやるとか、踊りの好きな人は発表会をやるとか、とにかく最初は一人でも多く集まっていたかくことをやったほうがいいと考えます。場所は区役所会議室でもいいし、出し物によったらサンピアンでもいいと思います。

委員 高齢者を前提にやるとすれば、学校の体育館か何かを借りて、まちの中でいろいろ活動されている人の発表会をやるのはどうですか。我々のほうは集会所がないので、学校の体育館を利用して何でもやらせていただいています。

委員 男の人は出不精なので、小学校のほうに来やすいのかもしれないと思います。

委員 私どもの地域の老人クラブ等では、高齢者が寝たきりにならないようにいろいろなものがあります。

委員 皆さんのお話を聞いていて、高齢者を主体に話をするのであれば、どの程度の規模のものを区民会議でPRしていくのか、集めていくのか、話の方向がよく見えません。

委員 地域地域の特性もありますから、1～2回は試行錯誤して、次回はどうしようかと話し合ったほうがいいのではないですか。身近なところでやることから始めたほうがいいのではないかという感触です。

委員 区民会議が何かの事業を行うのではなくて、その事業に対してPR的な補助をする

ことになった場合、どの規模のものをPRしていくのか。例えば、小川町で11月28日にコミュニティパーティーがありますが、そういうものを主体にするのか、高齢者の集まりだけを主体にするのか。商店街のほうを一生懸命やっているのに、町内会内部はよくわからない面があります。

委員 町内会の組織率は3割ぐらいで、町内会に無関心になっています。一方、団地自治会はかなり活発にやっています。

委員 私のほうの町会は、2世帯の方たちがいた場合、お年寄りだけが町会に入っています。いろいろ問題がありますが、余り町会と言われても困るので、もう少し一般的な地域ということで考えられたほうがいいと思います。

委員 毎月第2火曜日は、寝たきりになって天井を見て過ごさない生活をしようと、高齢者に集まっていただき軽い体操をしたり、園児が来て歌を歌ったり、楽しい時間を過ごしています。町会に何とかと言われますが、具体的にそういうことを地域でやっているの、そこに便乗するのもいいと思います。

事務局 成功事例を紹介したり、こういう活動をしているところがあるという紹介をしたりということからこの話が出たような気がします。その辺にまた立ち返ったほうがいいかもしれません。

委員 社会活動としてはこういう団体がありますとPRから入るのはいいと思いますが、その延長線という、余り変化はないと思っています。町内はきっかけとして、それが区全体の動きにつながるようなことをしたらどうですか。

事務局 こういう活動をしているところもあるという紹介です。それをやりなさいということではありません。

委員 高齢者というと、まず弱者保護という発想が先に出てきますが、元気で動きたい人がいます。そういう人にきっかけをつくるのがPRというイメージが強いのです。

委員 実際まちでやっているいいことがあります、それをいかに川崎区の人に知らせるかです。そのために人が集まる場所、方法をつくらなければならないと考えます。

委員 今、町会とか社協とか組織的にいろいろやっていますが、その網から抜けたラジオ

体操とか花壇をやっているとか自由なグループがまちの中にはいます。そういうものをPRすることだと思えます。

委員 カローリングはどうなりましたか。年代を問わずに参加できるので開催してもいいと思えます。

事務局 この間の子ども部会では、ぜひ高齢者部会と一緒に取り組んでいきたいという意見をいただきました。次回の全体会議で提案が出るかもしれないと思っています。

委員 体育指導委員にご協力いただければ簡単にできることなので、取っかかりが早くできると思えます。

委員 そうするのは大会場では出てきません。町内会がどうのこうのではなく、町内会ぐらいの規模でまず取りかからないと人が集まりにくいという意味です。

部会長 皆さんの意見がそれぞれですので、この案件はここまでにしたいと思えます。次回、全体会議をにらんだ部会をもう1回やらなければいけないと思えますので、それまでに皆さんでより具体的にお考えいただければと思えます。

「生きがい、社会貢献」のうち「地域の散策」について、具体化するにはどうしたらいいでしょうか。

委員 「ウォーキングガイドブック」があることを知っている区民は何%なのかと今思いました。

委員 こういう活動をしている人は知っていますが、活動していない人は知らないと思えます。

委員 活動していない人たちが知って値打ちが出てくると思えます。

委員 老人会の活動とかでは差し上げているのですか。

事務局 平成20年につくったものなので在庫はほぼ尽きています。

委員 こういう本があることを高齢者に知ってもらうことが一番いいPRになると思えます。

委員 これは大師でやっているウォークラリーでも利用しています。PRに利用できればすばらしくなります。

委員 ウォークラリーを利用してPRするのはいいアイデアで大賛成です。

部会長 「ウォーキングガイドブック」が余り知られていないという問題提起でした。「高齢者向けのウォーキングマップ作成」という課題解決策として、いいものであれば、これを改定して高齢者向けに味つけするようなことはできると思います。

委員 公園ですが、地区の老人会では、こういうものをもとにして自分たちで何回もやっています。私のところでは小田公園が出ていますが、歩く範囲を決めて紹介するのも必要ではないですか。

委員 老人クラブの会合に、現在こういうマップがあります、皆さん大いに勉強して元気に歩きましょうという説明もいいと思います。「ウォーキングマップ作成」とありますが、「ウォーキングガイドブック」からピックアップして作成して配布したらどうですか。

委員 「ウォーキングガイドブック」を知らない人のほうが多いと思います。

委員 お金をかけて皆さんにお配りするなら、見やすいもの、簡単に見てもらえるもののほうがいいです。

委員 高齢者部会で何とかしようというならば、これとは別につくるということはどうですか。

部会長 「ウォーキングガイドブック」一つとっても、新たなものをつくる考え方と、これを改善してつくるのでは随分方向性が違います。そのあたりも決めていかなければいけません、独自につくっていくとなれば、だれがつくるのかというあたりも詰めていかなければなりません。

「地域の散策」のほうはどうですか。

委員 「ウォーキングガイドブック」があるので、みんなで使いましょうというのもPRの一つだと思います。

部会長 「地域の散策」については、実際に歩きましょうという話です。

委員 トイレが問題です。そのコースの近くに学校でもあれば借りるという形にしないと、一般の家庭に借りることもできません。

委員 今、ほとんどの公園はトイレがついています。

委員 トイレまで備えた公園は全体の半分ないです。

委員 トイレをつくると、後の管理が困ります。トイレ、水道は公園にあってうれしいですが、また悲鳴を上げるものです。

委員 最近では浮浪者が公園で寝泊まりして、水道を使って洗濯しているのは少なくなりました。

ウォーキングしていても、トイレがないと困ります。ありそうなところをウォーキングする以外にないです。

委員 学校とか使えるようなコースをつくったらどうですか。

委員 学校は難しいと思います。外でできるトイレも大体そろってきていますし、町会事務所を借りたらどうですか。

委員 東海道を歩くだけで小1時間かかります。高齢者には30分に1回ぐらいのトイレ場所を考えておかなければいけませんが、最近、コンビニは使わせてくれます。トイレとベンチは高齢者部会の必需品だと思っています。

部会長 公園にトイレがないとかいろいろお気づきな点もありますが、「地域の散策」のために具体的にどこか歩くとか調査をするとか、そのあたりはどういうふうにお考えですか。

委員 「ウォーキングガイドブック」を徹底的にPRして、これをもっと活用して歩きましょうとするのも効果的かもしれません。

委員 何もなければだめなので、これをもとにやるのもいいと思います。

部会長 既存の「ウォーキングガイドブック」を使って実際に歩いて回ってみてはどうかという提案がありました。

次に、「高齢者に対する環境づくり」のうち「コミュニティバスの導入」について、今後どう取り組んでいくかお考えを聞きたいと思います。

委員 コミュニティバスをどういうふうを実現させていくかは難しいことであると痛切に感じています。TMOでやったときも、それはすごく感じました。私たちの部会でやる以上、高齢者が主体となってやらなければなりません。どのような事業モデルで走らせるかは、利益の問題も入ってこようかと思えます。

事業モデルとして吉祥寺の例がありますが、ムーバスといって走らせています。住宅地を7路線9系統で走らせ、1日7300人が利用しています。1系統100円で走らせています。これを走らせることによって、日本で住みたい場所は吉祥寺駅か、鎌倉かといった調査結果も出ています。この間の全体会議の中でも、皆さんが関心を持たれたという感触を得たので、これからは専門的に一つ一つつぶしながらやっていかなければいけません。説明していくときにはいろいろ難しさがあります。「コミュニティバス導入に係る審議の確認事項」に「TMOの調査結果を確認」とありますが、3年間の調査資料を事務局へ提出しますので、その辺から入って行っていただきたいと思えます。

部会長 コミュニティバスに関連して、資料2を説明してください。

事務局 <資料2に沿って説明>

委員 アンケート調査をするにしても、この部会では高齢者を主体に検討していくべきだと思います。その中で、市立病院なりほかの病院にも停車する場所を設けながら、市役所前でもおられるという形で、あくまでも高齢者が行けるバスにしたいと思えます。ただ、そのアンケート項目は専門家でなければ考えられません。

事務局 今、具体的な内容は無理だと思うので、アンケートをするのであればこの時期という落とし方ができればと想定していましたが、そこまでなかなかたどり着けないという感じです。

委員 目的は高齢者でいいと思います。

委員 このバスは一般のどなたでも乗れるものですか。

委員 どなたでも乗れます。

委員 アンケートは、老人会みたいなのところをお願いするのか、それとも無作為に送るのか、どういう方法にしますか。

事務局 やるとなれば細かい話を詰めていっていただきますが、大まかなスケジュールをまず考えていただくようにしましょう。

委員 これは外出しやすい環境づくりを目的としたというところに集約されるのですか。

委員 例えば、幸区の人たちが川崎市立病院へ行くときに、あれだけの距離を歩かなければなりません。そのような方々のために、幸区と川崎区とがうまく連携しながらそういうバスの運行ができないかということです。商業者からも、コミュニティバスがあれば、また違った意味でも役立てられると思います。

委員 ただ単に外出しやすい環境だけではテーマが大き過ぎますか。第一義的には病院に通いやすいようにということですか。

委員 市立病院はバスが出ています。

委員 あれはノンストップで川崎駅から直行ですが、川崎市立病院の地域の人たちもかなり利用しています。

委員 ただ、土日が休みというのもちょっと問題があると思っています。

委員 だから、そういうのを定時運行として、取っかかりとして高齢者向けのバスということ。幸区とか川崎区とを結ぶ一つの要因にもなるのではないですか。西口からアパート群の中をずっと通しながら、川崎の東口を経由して、市役所でも、川崎市立病院でも、路線を延ばせれば協同病院まで、停留所を400メートルごとに区切れれば、200メートル歩けば、そのバス停へ行けます。

部会長 TMOで調べてもいるようです。いずれにしても、次回の資料に落とし込めるといいと思いますので、お願いしてよろしいですか。

委員 その資料を2～3日じゅうに事務局へ届けます。

部会長 次は「ベンチ・トイレの設置」について、具体的にどうするか話し合いをお願いします。

委員 川崎駅周辺だけではなくて、できるだけ多方向的にベンチ、トイレが必要ではないかという感じがしています。繁華街から入っていったほうが利用者は大きいでしょう。費用は「商店街等も負担する。」という考え方で進められないかと思っています。

委員 トイレを商店街につくるのは非常に難しいです。

委員 場所としては、川崎中央でも新川通り、市役所通りでも花壇がありますが、そこをトイレにかえたらいいと思います。パリにある広告塔のようなものであれば、広告収入でかなり費用負担が減ります。

ベンチも、ユニバーサルデザインの5種類ぐらいのものをづくり、お店に選ばせ、ここに広告料を払って広告を出していいとすればどうですか。

委員 広告物掲載は、行政のものを使うともものすごい制約があります。街路灯を使ってどうやってできるか、3商店街で社会実験していますが、ここへこぎつけるまでに3年かかりました。

委員 警察、行政の規制をどうやってクリアしていくかというのは市民の目線での議論だと思います。市民レベルから強く言っていかないと直らないと思います。品川宿の歩行者天国を実現するのに5年かかりましたが、市民の快適な住みやすいまちづくりのために必要であれば、10年かかるからやめようと言っているのではないと思っています。

委員 長く取り組んでいかないと、一つのことができないということです。

委員 我々の任期は再来年ですが、今度新しいテーマを選びましょうとあって、この話はなしにしてしまったらもう何をかいわんやだと思います。息の長い話で市民が望むものを実現するのが区民会議の役割ではないですか。

委員 コミュニティバスは実現している都市もあるので、それは必要ですし、公衆トイレも商店街としても絶対に必要なものではないかと思っています。TMOの中でもそういうことを研究していますが、必ず警察と行政の枠にぶつかります。

委員 区民の意思ですといえば、企画課だって提案しやすいと思います。

委員 そういう実務に携わってきて、結局、そういう法の枠があります。

委員 時間も時間ですので、そろそろアンケートの方法とか決めて進めていったらどうですか。

事務局 中身はまた次回でいいと思います。コミュニティバスもトイレも長期戦なので、最終目標があって、22年度、23年度は、区民会議としてここまでやりたいというものを挙げて、今後、区民フォーラムで区民の意見も取り入れながら、この時期にどういうものやっていくか、細かい内容を詰めていけばよろしいと思います。

委員 やりやすいものを一つ一つつぶしていけばいいのではないですか。

事務局 やるのであれば、区民会議としては、ここまでこういう調査をしたい、この時期には視察に行きたい、こういう段階でアンケート調査をやりたいという意思表示を見せていくという形までしかできないのかと考えています。

委員 ステップ・バイ・ステップで、難しいというのが先に出てしまうと何もできないと思います。

部会長 ベンチ、トイレについても規制があるのを承知で提案しようとしているので、その裏づけになる市民の声がこれだけあるとか、どういう設置の仕方が可能なのか、そういう調査・審議は必要です。次回以降、どういう取り組みを具体的にしていくか、提案をしていただければと思います。

事務局 具体的に取り組むスケジュールを考えていかないと、なかなか先に進みません。ちなみにアンケート調査をやる場合予算をある程度見込んでいますので、その中で工夫できると思います。

委員 コミュニティバス、ベンチ、トイレの問題も、一緒くたのアンケートで1回にできます。今の時代、広域性のものを扱う場合にはアンケート調査が一番大切だと思います。

事務局 アンケートは23年度予算で見込んでいます。4月以降早々にやっていきますので、

あと4カ月ぐらいしかありません。その間準備をしていただかなければなりません。

部会長 「高齢者向けのウォーキングマップ作成」はどうでしょうか。

委員 「ウォーキングガイドブック」の活用法を考えたらどうかと言っています。

部会長 別につくったらどうかという意見もあります。

委員 次回までにそういう本を集めてもいいと思います。

委員 「ウォーキングガイドブック」をベースにして、このページはこうしたらどうかとかどンドン取り入れたほうがもっとよくなるだろうと思います。

委員 まちで今動いているものがありますので、そういうものを集めてみないとまずいと思います。

部会長 それでは、きょうはあまり具体的に決まりませんでした。コミュニティバスのプランを出してくださいということ、ベンチ・トイレの具体案も出していただきたいということぐらいで、「地域の散策」については今あるマップを活用してはどうかという意見がありました。

(2) その他

部会長 次の全体会議は12月27日です。それまでにもう少し詰めておかないと発表できませんので、どうでしょうか。今のところ具体的に調査に行くという話までには至っていませんが。

委員 どこか場所を決めて歩いて検討するのもいいのではないですか。

部会長 ウォーキングガイドマップを利用して「歩きましょう」という提案ですが、それを全体会議までにやるかどうかという話ですね。次回の部会をどういうふうにして運営していきましょうか。

委員 12月に1回ウォーキングしてみたらどうですか。

〔日程調整〕

部会長 12月11日土曜日、時間帯は10時から2時で、区役所に集まりましょう。雨天決行です。

歩く場所のプランはどうしますか。

事務局 皆様の意見を含めて事務局が案として行くまでにお渡しするという形でいかがですか。

部会長 次回は実施方針をもっと具体的に詰めたいと思います。それぞれ関心のあるところを重点にお考えいただき、ペーパーをご用意いただけるのであれば、部会の前にいただきたいですね。

副区長 <お礼を述べる>

3 閉 会

部会長 どうもありがとうございました。

午後 8時34分 閉 会